

# 葡萄酒の香



日本基督教団  
酒田教会  
〒998-0037  
酒田市日吉町  
1-1-7  
Tel.0234-22-1224  
牧師 塚本恭子

ペンテコステ礼拝説教

## キリストの証し人

エルサレムばかりでなく、ユダとサマリア全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。

使徒言行録2章1〜4節、

★教会は生きて働いている

教会はどのようにして出来たのか。聖霊降臨日礼拝で私たちは教会の誕生を知り、豊かに聖霊の働く教会で人間回復と再生のために神の救いの業を受け継がれていることを学びましょう。しかし、現実の教会はキリスト教の歴史からみても、いつでも内部の分裂が語られ人々は聖霊の御業を忘れ、ある問題が起きると互いに正しさを主張し合い、コリントの教会のような争い、わたしはパウロに、わたしはアポロに、わたしはイエスにと、教会分裂が起きているのです。そこには愛し合うべき人々に不信感が生まれ、祝福を受けるべき神からの恩寵が受けられなくなるのです。もちろん教会は

集まる人たちによって個性が生まれ、構成する牧師や教会員によって特徴ある教会が生まれるが、その教会の設立の歴史によって幼児期もあるし、活発に活動して伸びている成長期もあれば、少人数で礼拝を守るだけの静かな老齢期もあります。やがて閉鎖する教会もあります。どこかで新しく生まれる教会もあります。私たちの教会は生きて働いています。

★私たちはキリストの証人

使徒言行録は弟子たちの宣教伝道の記録が書かれています。主イエスが全世界の救い主であることを伝道するために、主の弟子たちが異邦人の地であるアジア・ローマにキリスト教を布教する様子が記録されています。その伝道旅行は行く先々で、多くの艱難、苦難に遭うがいつも不思議に聖霊の助けによる導きがあつて伝道され、不思議な聖霊の勢いに導かれて、その成果を上げていくのです。これが弟子たちの宣教活動の始まりで聖霊による教会の誕生を示しています。「エルサレムばかりでなく、ユダとサマリア全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」という御言葉のように、私たちが「キリストの証し人」

として立てられているのです。

★聖霊による洗礼

五旬祭の日の出来事は神の霊が天から降りたという聖霊降臨でした。それは主の弟子たちが創り上げた教会の原点であったのです。私たちが教会で礼拝をするのは、この原点に約束された神の真実が教会に啓示されているという確信に基づくものです。

聖霊降臨は、神の霊が人々に満ちた出来事でした。その日、そこに集まっている主の弟子たちは、自分たちが異常な体験をしたと告白しています。その時の様子は、「突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた」と。「風」とは、「神の息」、「霊」のことで、「響きわたった」とは、「充滿した、満ちた」ということ。ルカは聖霊が人間の五感で感じられるような状態であったことを伝えていきます。彼らは聖霊の音を耳で聞き、響き渡るのを体で感じたのです。彼らが集まっている部屋中に聖霊が響いた出来事は、ヨハネが水で洗礼を授けたのに対して、「キリストは、霊と火で洗礼を授ける」とヨハネが預言したことが成就したことを記しています。「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった」とは、舌は言葉、炎は神の表象（シンボル）ですので、「神の言葉」がそれぞれ弟子たちの心に宿ったことを語っています。これが聖霊による洗礼です。主の霊の降臨が新しい時の始

まりで、その主の霊の支配が教会に働いて、キリストを頭とする教会が誕生したのです。すなわち、聖霊の働きで一人一人が「イエスがキリストである」という宣教を始めたのです。

★聖霊は一人一人にとどまった

注目したいのは、「炎の舌」が一人ひとり留まったことです。「神の言葉」が留まったのは、その場にいた一同ではなく、個別にその人の心に神の霊が降りたのです。ということ、一同である共同体が個別的な賜物を受ける者の存在の集まりであることを物語っています。使徒パウロは「一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。ある人には“霊”によって知恵の言葉、ある人には同じ“霊”によってその同じ“霊”によって信仰を」と語るように、私たちの信仰はそれぞれ違う賜物が聖霊によって与えられているので、教会はタラントが違った人たちの信仰者の集まりで、有機的組織体です。

★教会は聖霊の働きにある

教会はキリストにあるものが一つになって祈るところ。彼らは一緒になって、ひたすら心を合わせて祈った時に、聖霊降臨があったのです。悔い改めの祈りが行われる礼拝から教会は始まりました。教会は、神の「エクレシア」と言われるが、その意味は神の民の集いの礼拝です。そこに主の頭

現、神が在臨するのです。神を神として崇める領域、すなわち教会の礼拝の中で、キリストの霊が顕現するのです。それは信仰告白に基づいて聖霊は働くからです。私たちの歴史に神が現れ、主イエスが十字架に架かり、死んでよみがえったことを信仰告白している教会にキリストの霊は支配し働くのです。言い換えると、主イエスが私たちの主であり、キリストが私たちの教会の頭であることを告白する共同体に聖霊が働くのです。

★キリストの証人

私たちが主の祈りでいつも「御国が来ますように。御心が天に行われますように、地にも行われますように」と祈りますが、教会の役割は、神の御心が天で行われているように、それと全く同じように、この地上でも完全に行われることです。教会は「エクレシア」という教会の組織の中に組み込まれ、神に選ばれて結ばれているので、神の国の建設する者の集まりです。私たちはキリスト者であることは、キリストの霊が注がれている信仰をもって、キリストの幻を見、夢を見るのです。教会は、キリストを頭とする共同体、この世にキリストの証人として立てられた者の集団で、教会は継続して礼拝が行われ神を賛美し証しするところです。(5月19日主日礼拝要約)

## J. A. ハチスン著 「キリスト教と政治」から学ぶ

長老 齋藤造酒雄

教会の「創立95周年記念誌」にも書きましたが生小生大学2年生時飯坂良明先生という学習院大学から来られていた政治学者から政治学を学びました。先生は若くとも面白い講義をされ、自分はクリスチャンであることを一言も話さず、政治家を皮肉り、全く魅力ある先生だった。先生の著書に「権力への抵抗」があり、その中にはバルトの神学はじめ天皇制の反対などの論文が見事な文章で物されている。「バルト神学の政治的決断」という文中には「闘争の時代を経たバルトが、『教会は非政治的ではなく、政治的に生きる』というとき、ひとはこれをバルトの徒な政治化と解してはならない。現代では、教会が福音へ沈潜すればするほどかえって政治的とならざるをえないという大いなる逆説をバルトは意識する。正しい福音の宣教がその最も根源的な意味で政治的であることを彼は主張する」(196ページ)とある。

昨年飯坂先生の訳書「キリスト教と政治」が手にはいり、今年の2月3日に読了と記入されています。この書の「訳し終えて」を読みますと、「キリスト教と政治という今

日最も関心を呼んでいる問題について、私はこれほど明快でしかも公平な考え方を示す本をほかに知らない。著者は、コロンビア大学宗教学部長として著作活動のみならず、社会的活動にも参加しているが、その思想傾向は、ラインボルト・ニーバーやジョン・ベネットなどと同じ新正統派の流れに属する一人として、アメリカのともすれば眠りがちな対社会的良心の覚醒に努力を傾注している」とあります。最後には「このような拙訳が、感謝の意を表すしるしになるとするならば、私の霊的指導者として多年そのご指導にあずかっている岡田五作先生に捧げたいと思う」ともあります。

100ページには「アウグスチヌスが『ざんげ録』の中で述べているように、彼は異教徒の父とキリスト教徒の母との間に生まれ、当時代の多くの思想を遍歴した心の不安定な青年であった。彼は順次マニ教（当時盛んであった二元論的宗教と哲学）、新プラトン主義、懐疑主義などの信奉者になった。最後にミラノの司教アンブロシウスに導かれてキリスト教にたどりついた。それ以来彼は、修道僧、牧師、司教、そして偉大な著者としてその才能と精力を教会に捧げた」とあります。二元論とは2つの異なった原理を立て、それによって説明する議論だそうです。

104ページには「政治的秩序に関するアウグスチヌスの信念は、非常に保守的であった。彼の神は、全ての物を予定の中に置く絶対的主権者であった。したがって彼にとつては『権威はすべて神によるものである』とパウロにならって断言することはむずかしいことではなかった」とも書かれています。

木曜日の聖書研究会で3日前に「神の国」について学びました。プリントによれば「ルカ文書から明らかなように、神の国（神の支配）の実現すなわち終末は、サタンの力の無力化という形でイエスの生前すでに「先取的に」実現したという主張である。」とあります。又塚本牧師の言葉では「私達が霊を宿って一緒に集まり、祈る時に神の国があるのです」でした。（5月3日主日礼拝説教）

### 主が扉をたたいておられる

齋藤啓和子

私は無に等しい者です。イエスさまが人の子としてこの地上に現れた時、「自分の十字架を日々背負って私について来なさい」（ルカ9:23）と呼びかけられました。こ

れに對して、きつぱりと「はい」と応答できない私です。僅かなことにも心が乱れる私です。

黙示録のなかで（黙3:20）、復活されたイエスさまが、人の心の扉をノックされています（旧讃美歌240番）。イエスさまの側には取っ手がない扉。前ラファエロ派のイギリスの画家ウイリアム・ホルマン・ハント（1827~1910）は「世の光」で、人間の心の扉、外側には取っ手がなく、内側からしか開かない扉を描きました。

1993年8月6日、全くの偶然から、個人的に、イギリス人のエヴンジリストに出会い「取っ手のない扉」を知りました。

学生時代、シエクスピアをはじめとする英米文学の根底にあるキリスト教を知るため読んだ *thou, thy* の聖書。ロンドンで手にした *you, your* の聖書。文学が主で、聖書は「せいぜい刺身のつま」のようなものだった学生時代。

塚本先生は2012年12月9日待降節第2主日礼拝で、心の内にある「取っ手のない扉」に言及されました。扉の外でノックされているのはイエスさま。取っ手は、私の方にあるのです。

己を犠牲にして、私心がなく、人の子としてこの世に来られたイエスさまは、人の弱さを見、人間を理解しておられました。しかも、そんな人間を赦して下さるのです。イエスさまの愛と神の愛と一体です。

信仰の創始者、完成者イエスさま（ヘブル12:2）は、神に右手を、罪人に左手を差し伸べて真ん中に立ち、十字架の嘲りと痛みに耐えられたのです。私の贖いのために（イザヤ53:4 旧讃美歌269番）。

塚本先生は2012年4月1日受難節最後の第6主日礼拝で、讃美歌21の306番「あなたもそこにいたのか」を取り上げられました。何度か聞いていたこの讃美歌。「はい」と項垂れるしかない私です。私がイエスさまを十字架に架けたも同然です。そんな私のためにイエスさまは十字架の嘲りと痛みに耐えられたのです。（イザヤ53:1-5 ルカ23:32-42）

遡って2002年6月31日、イースター。転居を思い思案に暮れていました。与えられた言葉は、「なぜ生きておられる方を死者の中に捜すのか」（ルカ24:5）でした。新しく生きよう思いました。

奇しくも、今日2013年3月31日はイースター。信仰心の厚くない弱い私。クリスチャンの面汚しになるのではないかと恐れています。生涯洗礼を受けることはないと思っていました。

こんな私なのに、塚本先生は、洗礼を受けてもいいとおっしゃるのです。先生ありがとうございます。

キリストの苦難を常に心に刻み、最後尾の自覚を持って、おぼつかない足取りですが、なんとかついて行きたいと思えます。

イエスさまが共にいて下さるのですから。  
（3月31日受洗を記念して）

### 牧師館だより

皆様お元気ですか。「葡萄の香」第6号をお送りします。毎日のように愛犬と散歩に行く日和山は、その季節によって様子が変わり私を慰めてくれます。松林の吹雪とつもった白い雪道が、桜が満開の花吹雪の道となり、やがて椿の花が赤い絨毯を敷いたように落ちて重なる王道にかわり、黄色の山吹が一斉に咲くロマンチックな小道になります。今は酒田祭りの太鼓や笛の響く騒々しい薄緑の若葉の小道の日和山です。

イースターに受洗者が与えられました。斎藤啓和子姉です。感謝です。英文学を長い間極めてきた方で、外国の生活や文学の学問の世界でキリスト教に触れた人です。酒田に移り住んで十年。私と同じで酒田の（風）と雪（炎）に洗礼を受けている私と同じぐらいの年格好の方です。

酒田の冬の特徴は雪が降って積もり、溶けてそして凍る、その上にまた雪が積もるこれを繰り返します。教会の庭は砂地のために地盤が軟らかく駐車場として使用していたが、泥と雪でスリップする状態でした。折ってコンクリートにしました。大変きれいで安全な駐車場になりました。感謝です。

私の毎日は、朝の七時から夜の七時までが勤務。預かり保育をしているので気を抜くことができません。学校法人になって3年が過ぎてても無認可の託児の精神が流れていて、教育の理念が食い違い苦労しています。私たちの体験の積み重ねが実力を発揮するので、そんなに簡単に理想的教育と言っても変えることが出来ないものです。しかし、幼児であつても中高生や大人であつても、神の前に創られた人間として立つことは同じだと思います。人間の尊厳、教育を受ける権利、保育者が互いに愛しあう義務も怠ることなく、人間の傲慢や欲望に左右されずに養育と教育に専念したい。けれど宮城学院の教頭時代に戻ったようで長持ちしないと思う。

体調はどうですか。と聞かれますが、気候と体が微妙に反応し合うので、松花粉で咳き込み、幼児の風邪に常に付き合わされ、寒暖の気温の差の激しさに体の免疫力を低下させる、その上カラリとした天候がなく、暗い雲の重さでの精神が酩酊するという中で毎日を主の名の下に過ごしています。人間の生まれた環境がその後にこんなにも影響を及ぼすものかと考えて悩んでしまします。なぜなら、そこに住む人たちの気質を創り上げているからです。

### 編集後記

園や教会は春の仕事が多く、「葡萄の香」の発行が遅れて5月になりました。塚本。